

子どもたちのいのちと 未来のために学ぼう 放射能の危険と人権

福島県教職員組合 放射線教育対策委員会
科学技術問題研究会【編著】

A5判／並製／96頁 ISBN978-4-7503-3626-8

はじめに——未来を生きる子どもたちに対する私たちの責任

第1章 「フクシマ」の「事実」を「事実」として、 どう「学び」に活かせるか

「フクシマ」の現状／「生きるための学び」を考える／「生きるための学び」をどう展開していくか／「生きるための学び」と人権教育／全国のみなさんへ

第2章 チェルノブイリ事故 26年の経験 ——子どもたちの環境、健康と生活

「チェルノブイリ事故の教訓」を学ばず招いたフクシマ事故／2.30km圏外の高汚染地から事故後5年経って移住／「放射線管理区域」レベルの汚染地で暮らす600万人／ベラルーシの食品放射能汚染と住民の体内汚染／ベラルーシの汚染地で放射能と向き合う子どもたちの生活／「チェルノブイリ後の世界」を生きる子どもたちの「学び」／子どもたちの健康と命を守るための努力／過小評価されてきたチェルノブイリの健康被害／ヒロシマ・ナガサキ、チェルノブイリ、フクシマを結んで

第3章 文科省の『放射線副読本』では、 子どもたちの健康も未来も守れない

「低い放射線量は大丈夫」という教育の大問題／放射線は、人の健康に悪影響をもたらす／フクシマの汚染と被ばくの実状を正しく伝えよう／「100ミリシーベルトなら安全」というウソ／国際放射線防護委員会（ICRP）の勧告では正しく伝えられない／フクシマ事故にふれないのはどうしてか？／住民は知らないうちに被ばくさせられた／放射能の恐怖から免れるため脱原発を／再生可能エネルギー中心の持続可能な社会へ

第4章 『放射線副読本』に

だまされないための基礎知識

放射線と光の違い／自然放射線と人工放射線／半減期／透過力（性）／放射能の単位／放射線量の単位／放射線の利用

おわりに——子どもたちの未来のために学ぼう

2012年
7月刊行

子どもたちの
いのちと未来のために学ぼう
放射能の危険と人権

福島県教職員組合 放射線教育対策委員会
科学技術問題研究会
【編著】



明石書店

放射能汚染下で暮らさざるをえない子どもたちと共に、教職員・親たちは被ばくや原子力、差別の問題などをどう考えていけばよいのか。これからの放射線教育を構築するための福島からの提言。

【編著者紹介】

福島県教職員組合 放射線教育対策委員会

2011年11月、福島県教職員組合の有識者を中心に設置された組織内機関。同年12月に「放射線教育」に関する県教組見解原案を作成し公表。2012年4月1日に機関紙「福島県教育新聞」紙上で、「福島第一原発事故に起因する放射能被害に苦しむ 福島県の放射線教育のあり方について（提言）」を発表。福島県内外に、子どもたちの安全と人権回復を訴える情報を発信している。

科学技術問題研究会

理工科系の研究者・専門家、教職員を中心に、核や温暖化、化学物質汚染などの危険性、環境危機の解明を目的に1998年に結成。ダイオキシン汚染や国際熱核融合炉（ITER）反対運動にも取り組む。研究活動の成果は『環境危機はつくり話か』（緑風出版、2008年）として出版。研究会の前進の「地球環境と廃棄物を考える会」は1990年に活動を開始。

明石書店 〒101-0021 東京都千代田区外神田6-9-5
TEL.03-5818-1171 FAX.03-5818-1174

ご注文方法

このチラシをご持参の上、最寄りの書店へご注文ください。
直送をご希望の方は、左記電話またはFAXにてお申し込みください。
代金引き替え郵便でお送りします（送料一律300円）。

番線印
冊

子どもたちのいのちと未来のために学ぼう
放射能の危険と人権

定価840円（本体800円+税）
ISBN978-4-7503-3626-8

（フリガナ）
お名前

TEL

ご住所 〒

（アパート・マンション名・部屋番号）

明石書店

TEL 03-5818-1171
FAX 03-5818-1174